

呉工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	特別一般講義 (先端科学実習Ⅱ)
科目基礎情報					
科目番号	0004	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	実習	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	特別一般講義・特別専門講義	対象学年	4		
開設期	集中	週時間数			
教科書/教材	なし				
担当教員	笠井 聖二				
到達目標					
<p>選択した先端科学の概要を知り、それを説明できる。          選択した先端科学の内容に関する実習ができる。          選択した先端科学に関する内容を、他の学生に説明・報告できる。</p>					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	受講するスクールの内容の調査・選択が適切にできる。	受講するスクールの内容の調査・選択ができる。	受講するスクールの内容の調査・選択ができない。		
評価項目2	受講するスクールの先端科学の実習内容を理解し遂行することが適切にできる。	受講するスクールの先端科学の実習内容を理解し遂行することができる。	受講するスクールの先端科学の実習内容を理解し遂行することができない。		
評価項目3	受講したスクールの先端科学の内容に関する実習内容を適切に報告・発表できる。	受講したスクールの先端科学の内容に関する実習内容を報告・発表できる。	受講したスクールの先端科学の内容に関する実習内容を適切に報告・発表できない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	先端科学の概要を知り、その理解を深めるとともに、先端科学と社会や専門分野との関係を考え、広い視野で自主的に活動できるようになる能力を育成する。				
授業の進め方・方法	・先端科学関連の研究所等が実施するスクールに参加する。期間は、4日程度 (17時間程度の実習・レクチャーなど) を基本とする。				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象学年は4年から5年とし、この間に1単位のみを認める。</li> <li>・単位認定に該当するスクールかどうかを、事前に担当教員に確認すること</li> <li>・1つのスクールで授業時間が不足する場合には、スクール前の準備学習やスクール後の報告などの時間を増やすことで対応できる場合があるので、担当教員に事前に相談すること。また、複数のスクールで授業時間を確保することも認める。</li> </ul>				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
前期	1stQ	週	授業内容	週ごとの到達目標	
		1週	スクールの選定	スクール及びその内容を調べる	
		2週	活動準備	スクールで活発に活動できるように、先端科学・スクールの内容を調べ準備する	
		3週	スクールでの実習	スクールに参加し、実習をおこなう	
		4週	スクールでの実習	スクールに参加し、実習をおこなう	
		5週	スクールでの実習	スクールに参加し、実習をおこなう	
		6週	スクールでの実習	スクールに参加し、実習をおこなう	
		7週	スクールでの実習	スクールに参加し、実習をおこなう	
	8週	スクールでの実習	スクールに参加し、実習をおこなう		
	2ndQ	9週	スクールでの実習	スクールに参加し、実習をおこなう	
		10週	スクールでの実習	スクールに参加し、実習をおこなう	
		11週	スクールでの実習	スクールに参加し、実習をおこなう	
		12週	スクールでの実習	スクールに参加し、実習をおこなう	
		13週	スクールでの実習	スクールに参加し、実習をおこなう	
		14週	報告書作成	報告書の作成・報告発表の準備をおこなう	
		15週	報告	報告発表をおこない、報告書を提出する	
16週					
後期	3rdQ	1週			
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	4thQ	9週			
		10週			
		11週			

		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	スクールでの評価	報告書	発表	合計	
総合評価割合	60	20	20	100	
実習全体	60	20	20	100	